

持つことになるのかということは過去の歴史を見ればわかると思います。

「お金」や「貨幣」が生まれて以降、歴史上でもこの裏金の問題は常に存在してきました。これが小さな宗教法人でさえも力を持つことができるひとつの理由です。そもそも、皆さんもなんとなくわかると思いますが、裏の世界で生きているような人や政治家が新興宗教を信じているはずがありません。

彼らはシンプルに裏金を作ることができるから仲良くしているだけです。

ここがおそらくは新興宗教にとって一番おいしいところなのだろうと思います。日本の場合であれば、政治家の皆さんも表向きはキャッシュレスに反対している人は今のところはいません。ただ、実際には全く進みません。

完全なキャッシュレスの時代になると、この裏金を作る脱税システムは非常に使いづらくなるのは当然です。全員がそうだとは言いませんが、一部の政治家の中にはこのような脱税システムを未だに使っている人もいるでしょうから、なかなかデジタル化が進まないことにも頷けるような気がします。

キャッシュレスのその先にはデジタルマネー化があります。

通貨自体がデジタル化されれば、そのお金が誰から誰に渡っているのか、その動きが全て履歴として記録されます。こうなるとお金が盗まれても履歴がわかるので、不正利用しようとしても意味はないわけです。

そうなればこのような脱税は当然できなくなります。

デジタルマネー化が進めば今世の中で騒がれているような問題もかなり解決します。しかも、このデジタルマネー化が完全に行われれば、日本の場合であれば年間で**12兆円**ほどが浮きます。現金輸送車などで現金を流通させるためのコストだけで毎年**6兆円**から**8兆円**ぐらい使われていると言わ

そうなればこのような脱税は当然できなくなります。

デジタルマネー化が進めば今世の中で騒がれているような問題もかなり解決します。しかも、このデジタルマネー化が完全に行われれば、日本の場合であれば年間で**12兆円**ほどが浮きます。